

表紙：クラフト“楽しい夏祭りの夜空を彩る大輪の花火”

夜空いっぱいに、色とりどりの大きな花火が咲いています。

浴衣姿の子どもたちは、うちわやヨーヨー、金魚を手に、夏祭りの夜を楽しんでいるようです。

きらきらと輝く花火の下に並ぶ笑顔からは、にぎやかで楽しい夏のひとときが伝わってきます。

夜風に包まれながら、みんなの心にも夏の思い出が明るく広がっていくようですね。

アイデアを お待ちしております！

「Hiraku」では、英語・幼児教育の
最新ニュースやトピックなど皆さまに
役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております！

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2026年7月発行 Vol.46

次回9月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

☎ 530-0033 大阪市北区池田町 3-1

ぶらら天満ビル 2F

www.kinderkids.com

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

46



- ★堺校&名古屋校アドベンチャースクールにリニューアル
- ★日本語学習クラスの取り組み ★インフィニティ宿泊学習
- ★福岡校10周年イベント開催 ★イベントのお知らせ



日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.

自然の中で広がる、主体的な学び

アドベンチャースクールへのリニューアル後、堺校では、子どもたちが外で過ごし、自然に触れ、自分で考えて行動する時間をこれまで以上に大切にしています。園庭や近隣の公園を活用したOutdoor NumeracyやOutdoor Curriculum、自然観察、雨の日の活動などを通して、体を動かしながら学ぶ機会が広がりました。枯葉や草木にも興味を持ち、身近なものを遊びに取り入れる姿も増えています。

アドベンチャースクールにリニューアル!!



園庭と公園が生きた教室に

堺校の特徴は、リニューアルした園庭と金岡公園を、日常の学びの場として活用できることです。園庭では、サツマイモや赤シソ、ピーマン、きゅうり、枝豆などを育て、水やりや観察、収穫、クッキングまでを体験。ジューンベリーの実や蝶、雨宿りをする虫など、植物と生き物のつながりにも気づいています。水たまりに石を落とした音や、葉をこすり合わせたときの音を確かめ、「園庭にはたくさんの音がある」と発見した姿も印象的でした。



発見を言葉に、挑戦を自信に

こうしたExploration Timeでは、日々身につけた英語を、子どもたちが自分の発見を伝える言葉として自然に使う場面が生まれています。室内のFree Artでも、先生がすぐに手を貸すのではなく、まず自分で試し、必要に応じて友だちと協力することを重視しています。小さな挑戦や失敗を重ねながら、問題解決力、自立心、協働する力、自信を育むことが目標です。これからも子どもたちの姿に合わせ、環境や活動を進化させていきます。

雨の日だって
冒険日和!



みんなで土づくり、
稲づくりの第一歩!



子どもの「なぜ？」から始まる学び

名古屋校ではこれまで英語教育や探究的な活動に力を入れてきましたが、アドベンチャースクールへのリニューアルを機に、「子どもたちが自ら考え、挑戦し、発見すること」をこれまで以上に大切にしています。園内外の自然に触れる機会を増やし、先生が答えを教えるのではなく、「なぜだろう?」「どうしたらできるかな?」という問いから、子ども自身が気づき、考え、行動する

過程を重視。虫眼鏡で自然を観察して「魔法みたい!」

と驚いたり、ツツジの色水から「スイカの匂いがする」と感じたりと、

感性や経験が学びへつながっています。

水と泥に触れ、五感で発見する

名古屋校ならではの環境として、園内の手押しポンプ、じゃぶじゃぶ池、泥場があります。子どもたちは水をくみ上げながら、「どうして水が出るの?」「もっと出すには?」と試行錯誤し、友だちと協力してポンプを動かしたり、水路を作ったりします。泥遊びでは、冷たさや柔らかさ、音、匂い、色の変化を全身で感じ、水の量によって泥の状態が変わることも自分の手で発見。

遊びの中で、五感、協調性、問題解決力が育まれています。

四季の変化が探究へつながる

さらに、近隣の準人池公園も日常の学びの教室です。春の草花や昆虫、夏のセミやトンボ、秋のどんぐりや落ち葉、冬の木々の変化など、同じ場所を一年を通して訪れることで、季節や命の移ろいを実感します。集めた自然物はアート制作や数遊び、分類活動へと発展。羽化したばかりのトンボとの出会いを通して、生き物との関わり方を考える経験も生まれます。自然環境を、ただ遊ぶための場所としてだけでなく、発見と探究が続く学びの場として活用しています。



自然の中で、自ら考え、挑戦する力を育む

自然のように、自分の思い通りにはならない環境の中でも、その状況を受け入れ、自分で考え、工夫し、楽しみを見つけられる力を育んでほしいと考えています。また、友だちとアイデアを出し合い、協力する中で、相手を思いやる気持ちも身につけてほしいです。外で五感を使い、思いきり体を動かす経験は、感性や探究心だけでなく、英語で伝えたいという意欲や、自分の身を守る力にもつながります。堺校は、アドベンチャースクールとして始まったばかりです。これからも子どもたちや保護者の皆さまと一緒に、堺校ならではの学びの場をつくっていききたいと思います。その歩みを、ぜひ温かく見守っていただければ幸いです。



アドベンチャースクール
堺校 施設長
平尾 葉月



アドベンチャースクール
名古屋校 施設長
吉永 宏美

「正解を知る」より、「見つける力」を

私たちは、子どもたちに「正解を知ること」だけではなく、自分で考え、試しながら「正解を見つけられる力」を育んでほしいと願っています。泥だらけになったり、思うようにいかず失敗したりすることも、本気で遊び、本気で学び、挑戦を楽しんだ証です。自然の中で心を動かし、「なぜ?」「やってみよう!」と思う気持ちを、私たちは大切にしていきます。好奇心、挑戦する力、考える力、そして英語力を身につけ、将来、世界のどこにいても自分の思いを伝え、自分らしく活躍できる人に育ってほしいと思います。名古屋校では、子どもたち一人ひとりの発見に寄り添い、ともに考えながら、その成長を支えています。

英語で学ぶ毎日の中にある、 日本語と日本の心の学び

キンダーキッズの日本語学習クラス



キンダーキッズでは、英語力を育てるだけでなく、日本で育つ子どもたちが母国語である日本語を大切にし、日本の文化や心に親しみながら成長することも大切にしています。日本語学習クラスは、その考えを具体的な学びとして形にしている取り組みのひとつです。

英語だけではない学び

キンダーキッズは、英語で過ごす環境を通して、子どもたちの英語力を育てる園です。一方で、私たちが大切にしているのは、英語だけではなく、日本で育つ子どもたちが、母国語である日本語をしっかりと身につけ、日本の文化や心を理解しながら成長していくことも、キンダーキッズの教育において大切な柱のひとつです。日本語学習クラスでは、ひらがなやかタカナ、数の学習といった基礎的な内容に加え、話を聞く姿勢、集中して取り組む力、自分の考えを言葉にする力も育てています。これは、課外クラスの枠にとどまらず、子どもたちが小学校以降の学びへ自信をもって進んでいくための土台づくりでもあります。



読み書きと数の力を、体験を通して育てる

このクラスでは、ひらがなやかタカナ、名前の書き方などの読み書きに加え、数の概念を育てる学習にも取り組んでいます。プリント学習だけでなく、タイル教材や具体物を使いながら、子どもたちは実際に見て、触れて、動かしながら数を理解していきます。幼児期の子どもたちにとって、「3」や「5」という数字を読むことと、その数の量を実感することは別の学びです。タイルを並べたり、数えたり、比べたりする活動を通して、「1つ増える」「同じ数」「あといくつで10になる」といった数の意味を、感覚的に身につけていきます。



年少から継続して取り組むことで、年長になる頃には、数の関係を考えたり、足し算・引き算の基礎となる考え方にも自然につながっていきます。単に答えを覚えるのではなく、自分で数をイメージし、考えて答えを導く力を育てることを大切にしています。

読み書きと数の学びは、小学校以降の学習につながる大切な土台です。その土台を、子どもたちが「わかった」「できた」と感じられる楽しい経験の中で育てています。

英語のテーマ学習とつながる、日英横断の学び

キンダーキッズの代表的なカリキュラムのひとつに、ひとつのテーマを深く学ぶ「テーマ学習」があります。子どもたちは英語カリキュラムの中で、宇宙、動物、自然、からだ、世界の文化など、さまざまなテーマを英語で学びます。日本語学習クラスでは、そのテーマを日本語でも取り上げ、英語で学んだ内容を日本語で言い換えたり、絵本や制作、話し合いを通してもう一度考えたりします。同じテーマを日英両方で学ぶことで、言葉や表現、文化的な背景の違いに触れ、理解をより深めていきます。英語と日本語を行き来する学びは、語彙力だけでなく、ものごとを複数の視点から捉える力にもつながります。日本語学習クラスは、英語での学びを日本語でも支え、広げる役割を担っています。



日本文化に親しみ、日本の心を体験を通して育む

紙相撲や伝承遊び、手遊び、季節の行事、制作活動などを通して、日本の文化や習慣を知り、自分たちの暮らす国への理解を深めていきます。また道徳の時間には、「ありがとう」の気持ちや思いやり、約束を守ることなど、日常生活で実践できるテーマを取り上げています。友だちとの関わりや集団生活の中で、相手の気持ちを考え、自分の思いを伝える経験を重ねながら、考える力、表現する力、人と関わる力、思いやりの心を育てています。



日本語学習クラスから届く「学習たより」

日本語学習課では、授業の様子や季節ごとの取り組みを保護者の皆さまへお届けする「学習たより」を発行しています。日本語学習クラスでどのような活動を行っているのか、子どもたちがどのように日本語や日本文化に触れているのかを、写真やコメントとともに紹介しています。受講されていないご家庭にも、キンダーキッズの日本語教育の考え方を知っていただける内容です。

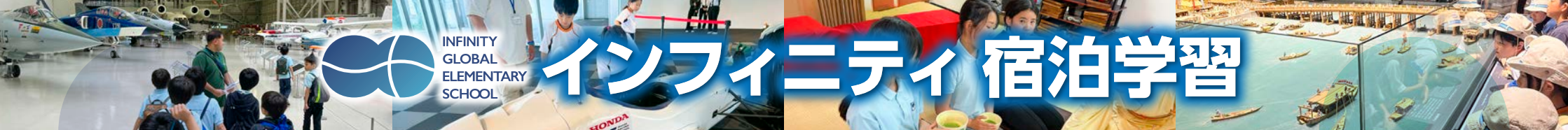


日本語学習課 より



日本語学習課
小林 美智子

日本語学習クラスでは、日本語を学ぶだけでなく、自分の気持ちを伝え、相手の思いに気づく力を育てることを大切にしています。英語で学んだテーマを日本語でも考え、日本の文化や言葉に触れることで、理解はより深まります。これからも、子どもたちが楽しみながら学び、自信をもって表現できるよう、一人ひとりの成長に寄り添ってまいります。キンダーキッズが目指すのは、英語を話せる子どもを育てることだけではなく、日本語で考え、日本の心を大切にしながら、英語でも世界とつながる力を育てること。日本語学習クラスは、その教育理念を日々の学びの中で形にしている取り組みです。



G3 東海地方

インフィニティ国際学院初等部では、IPCの学びを実際の社会へ広げる「日本7地域の旅」を行っています。教室で学んだ知識をもとに、子どもたちは現地へ足を運び、地域の特色や人々の暮らし、交通、観光、ものづくりなどを自分の目で確かめます。今回は、4・5・6年生が関東地方へ、3年生が東海地方へ宿泊学習に出かけました。東京では、新旧の魅力が融合する都市の姿を、東海では、移動や技術が世界とつながる仕組みを探究。子どもたちは受け身の観光客ではなく、自ら問いを持ち、体験を通して学びを深めるフィールドリサーチャーとして、忘れられない旅に臨みました。

G4~6 関東地方

東海への旅の目的

3年生の子どもたちは、初めての「日本7地域の旅」として東海地方を訪れました。今回の宿泊学習は、「移動すること」「目的地を訪れること」「そこで得られる体験」という旅の要素を探究し、IPCのテーマ「Travel & Tourism」を実際の世界へ広げる機会となりました。出発前には、リニアモーターカーや飛行機について事前学習を実施。リニアが磁石の力で約10cm浮いて走ることを知ると、「浮くの!？」と驚く声も。飛行機では、揚力・推力・抗力・重力のバランスが大切であることを学び、本物を見る期待を高めて出発しました。

飛行機はどうやって飛び?

1日目に、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を訪れ、実際に飛行していた歴史的な航空機を間近で見学しました。施設見学後には、専門スタッフの指導のもと飛行機づくりにも挑戦。空気の流れや飛行を可能にする力について学び、「知っている」ことが「本当に理解できた」に変わる時間となりました。その後はリニア・鉄道館へ移動し、鉄道の歴史と未来を探究。子どもたちはドクターイエローをはじめ、さまざまな列車を間近で見学しました。

セントレア国際空港と鈴鹿サーキット

2日目は中部国際空港セントレアの特別ガイドツアーに参加し、空港の役割や仕組みを学びました。実際の飛行機に入り、コックピットを見学する貴重な体験も。INAXライブミュージアムでは光る泥だんご作りに挑戦。「2週間、朝と夜に磨いてください」と聞き驚きながらも、宿泊施設では黙々と磨き、翌朝には「先生見て!もっと光った!」と嬉しそうに見せる姿もありました。旅の最後は鈴鹿サーキットへ。車両の仕組みやデザインの革新をテーマにした協働型プログラムで、移動やものづくりを支える技術への関心を深めました。

宿泊学習を振り返って

今回の旅では、見学先での学びだけでなく、宿泊生活の中でも多くの成長が見られました。食事のマナーを振り返り、翌日には自分たちで意識して行動する姿や、普段あまり関わりのなかった友だちと自然に距離を縮める姿もありました。事前学習で得た知識を現地で確かめ、体験を通して理解を深めた今回の宿泊学習。子どもたちは、移動やものづくりを支える仕組みにふれながら、自ら問いを持って学ぶ姿勢を育みました。



飛行機が空を飛ぶ仕組みを学ぶ子どもたち。事前に学んだ4つの力を、専門スタッフの解説を通して深く理解しました。



光る泥だんごづくりで、常滑に根づくやきもの文化にふれました。磨くほど美しく変わる土の様子に、子どもたちは夢中でした。



車両の仕組みやデザインを学ぶプログラムに参加。目的に合わせて車の形やパーツを考えながら、ものづくりの工夫に触れました。

新旧が融合する都市、東京

4~6年生の子どもたちは、新幹線で関東地方へ向かいました。車窓から富士山を眺めながら進み、最初の目的地である東京スカイツリーへ。展望台からは、東京の街を一望することができました。IPCの学習テーマである「Travel and Tourism」と「The Holiday Show」について考える、よい出発点となりました。東京が観光地として多くの人を惹きつける理由や、超近代的なデザインによって進化しながらも、日本の伝統や歴史を大切に受け継いでいる点に注目。眼下には、都市のインフラや人々の暮らしがどこまでも広がり、東京という街の大き

さを実感できました。スカイツリーは、優れた建築技術の象徴であり、国内外から多くの観光客が訪れる人気のスポットとなっています。

観光地の作りと茶道を通して見つめる日本

スカイツリーからほど近い浅草では、浅草寺周辺を歩きながら観光客の流れを観察し、さまざまな言語が聞こえてくる様子を体感しました。にぎやかな仲見世通りでは、どのようなお土産が自分たちや世界中の人々にとって魅力的に映るのかについても考えました。その後、茶道体験に参加し、抹茶の点て方や正しい作法について学びました。日本文化を体験しながら国際的な視点で考えることは、「日本7地域の旅」の学びにおいても、インフィニティの教育理念においても大切な要素です。

豊洲市場で学ぶ、食と流通のつながり

翌日は、少人数のグループで豊洲市場を見学し、競りのエリアを訪れました。活気ある環境の中で素早く入札を伝えるため、手の合図を使った特別な数え方があることを学びました。また、マグロの種類や水揚げされる地域についても知ることができました。寿司や刺身は、日本を代表する食文化として世界的にも知られています。地域のレストランで提供される魚が豊洲市場から届くことを知り、食と流通のつながりについて考える機会となりました。

江戸東京博物館で学ぶ、東京の歩み

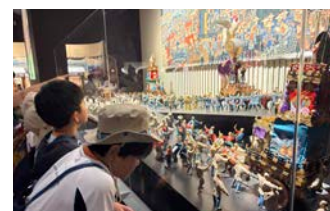
旅の最終日には、江戸東京博物館を訪れ、首都・東京の歴史をたどりました。館内には、模型や展示物、歴史的な資料など、見応えのある展示が数多くありました。昔の面影を残しながら、東京がどのように現代の大都市へと発展してきたのかを感じ取ることができました。今回の旅を通して、子どもたちは東京の「新しさ」と「伝統」の両方に触れ、都市の魅力を様々な角度から学ぶことができました。



茶道体験では、抹茶の点て方や作法に加え、「和敬清寂」に込められた思いやり、心静かに一服をいただく精神を学びました。



マグロの種類や流通について学ぶ子どもたち。豊洲市場での見学を通して、食と市場のつながりを考えました。



江戸の街並みや人々の暮らしを再現した模型を見学。東京の歴史と、現代へと続く発展の歩みを学びました。



キンダーキッズ福岡校10周年記念

KidZania Fukuoka × KINDER KIDS International School

キッザニア福岡 貸切イベント

7/
17
(Fri.)



10年分のありがとうが集まった、福岡校10周年の特別な一日

7月17日(金)、キンダーキッズ福岡校の開校10周年を記念し、キッザニア福岡を貸し切った特別イベントを開催しました。当日は会場の外で大雨が降る時間もありましたが、館内はその影響を感じさせないほど、子どもたちや保護者の皆さまの笑顔と活気に包まれていました。

開校当初は少人数からスタートした福岡校も、今では180名以上の子どもたちが通うスクールへと成長しました。10年間、福岡校を温かく支えてくださった保護者の皆さま、そして日々子どもたちと向き合ってきた先生たちへの感謝を込めて、「10周年だからこそできる特別なイベント」として企画された一日です。

10周年だからこそ実現した、キッザニア福岡での貸切イベント

会場には、10周年記念Tシャツやキンダーキッズの制服を着た子どもたちが続々と集まりました。いつものスクールとは違う場所で、先生やお友だちと顔を合わせる特別な雰囲気、子どもたちも少し興奮した様子。入口では、キッザニアのメインキャラクターのウルパノがハグやハイファイブでお出迎えし、記念撮影を楽しむご家族の姿も多く見られました。さらに館内では、子どもたちにもおなじみのムーンロッカーズの映像が大画面に映し出され、イベントへの期待感が一気に高まってきました。スピーチやキッザニアのパフォーマンスに続き、胸にピースサインを当てるキッザニアならではの挨拶を練習し、いよいよお仕事体験がスタートしました。

英語にも触れながら、夢中で取り組んだお仕事体験

子どもたちは、それぞれのパビリオンでさまざまなお仕事体験に挑戦しました。特に人気だった消防士の体験では、ヘルメットと制服を身につけた子どもたちが火災現場に向かい、真剣な表情で放水に取り組む姿が見られました。

ほかにも、警察官、車の整備士、歯科医院、科学研究所、ソーセージ工場など、子どもたちは興味のある仕事に参加しながら、社会のしくみや仕事の役割に触れていきました。各ブースでは英語で説明が行われる場面もあり、キンダーキッズの子どもたちにとって、英語を使いながら実社会の学びに出会う貴重な体験となりました。



入口でお出迎えてくれたウルパノと、家族みんなで笑顔の写真撮影を楽しみました。



火災現場に消防車で駆けつけて、隊員同士が力を合わせて消火活動を体験しました!

小さな子どもたちも楽しめる、キンダーキッズエリア

K1未満の小さなお子さまにも楽しんでいただけるよう、会場内にはキンダーキッズエリアも用意されました。クラフトコーナーや、保護者の皆さまと一緒に参加できるアクティビティが設けられ、年齢に合わせて無理なく楽しめる時間となりました。特設コーナーには、子どもたちにおなじみのフォニックスアイランドのキャラクターも散りばめられ、キッザニア福岡の世界観の中に、福岡校らしい温かさとしがやが広がっていました。小さな子どもたちが保護者の皆さまと一緒に活動を楽しむ姿も、10周年イベントならではの微笑ましい光景でした。

スタンプラリーと再会がつかないだ、福岡校らしい温かさ

アクティビティの合間には、先生やキンダーキッズのスタッフを見つけてスタンプを集めるスタンプラリーも行われました。大好きな先生にはもちろん、普段はなかなか話す機会のない先生や本部スタッフにも、子どもたちは“Can I have a stamp, please?”と元気に声をかけていました。スタンプを通じて、子どもたち、保護者の皆さま、スタッフが自然に交流する姿があちこちで見られ、福岡校のアットホームな雰囲気が感じられる時間となりました。

また、今回のイベントには在園生だけでなく、多くのGrad生も参加しました。久しぶりに先生やお友だちと再会し、保護者の皆さまも言葉交わす様子が見られ、会場はまるで同窓会のような温かい雰囲気に包まれました。福岡校が、卒園後もつながり続けられる場所であることを改めて感じる一日となりました。

10周年という節目を、子どもたち、保護者の皆さま、卒園生、スタッフがともにお祝いできたことは、福岡校にとって大切な思い出となりました。会場に広がった笑顔、久しぶりの再会、自然に交わされる会話から、10年間かけて育んできたつながりと温かさが感じられました。子どもたちが時間いっぱい楽しむ姿も印象的で、10周年にふさわしい、心に残る一日となりました。



キンダーキッズ福岡校
施設長
辻本 明日香

福岡校からのメッセージ これからも「第二の家」のような温かい場所であり続けたい

福岡校が10周年を迎えられたことを、心より嬉しく思います。開校当初は少人数から始まった福岡校も、今では180名以上の子どもたちが通うスクールへと成長しました。これまで温かく支えてくださった保護者の皆さま、そして福岡校を築いてきた先生方に、心より感謝申し上げます。今回のイベントも、皆さまとの温かなつながりを感じる大切な機会となりました。これからも、子どもたちにとって楽しく、保護者の皆さまにとって安心できる、アットホームな「第二の家」のような場所であり続けられるよう努めてまいります。今後とも福岡校をどうぞよろしくお願いいたします。



パビリオン：科学研究所
白衣を着て、ピーカーや顕微鏡を使いながら、菌の研究者になって実験に挑戦しました。



KKエリア
小さなお子さまも楽しめるクラフトエリアで、先生と一緒にラーメン作り。



スタンプラリー
スタンプをきっかけに、普段話せない先生やスタッフとも温かな交流が生まれました。

Our Special Events

キンダーキッズは今年もイベント盛りだくさん！
各地域でさまざまなイベントを企画しました。
思い出づくりのひとときに、ぜひご参加ください。

名古屋

Halloween PARTY

ハロウィンパーティー2026を開催します！
子どもたち・スタッフも楽しみにしているスペシャルイベント♪
保護者の皆さまにもご参加いただき、親子で一緒にハロウィンを楽しんでいただける内容をご用意しています。仮装をして、ゲームやダンス、Trick or Treat!など、楽しいアクティビティが盛りだくさん！
ぜひご家族で素敵な思い出を作りましょう♪

日時 2026年10月31日(土)

会場 キンダーキッズ名古屋校

対象 キンダーキッズ・グラッドクラブの
在籍者とそのご家族

関西

阿波座フェスティバル2026

クラフトやアクティビティ、ゲーム、フードトラック、フォトブースなど親子で楽しめる企画が盛りだくさん！
今年も、ご家族で楽しいひとときをお過ごしください♪

日時 2026年10月4日(日)

会場 キンダーキッズ阿波座校および周辺施設

対象 キンダーキッズ・グラッドクラブ・
インフィニティの在籍者とそのご家族

内容 クラフト体験、屋外アクティビティ、
フードトラック、フォトブース ほか

関西

スピーチコンテスト2026

日ごろの英語学習の成果を試す場として、また、学習のモチベーションアップを図る機会として、今年もスピーチコンテストを開催いたします。多くのメンバーの参加を期待し、ご応募をお待ちしています！

日時 2026年9月27日(日) 10時ごろ開始予定

会場 天王寺夕陽丘ジム

対象 Grad Clubに在籍しているG1~G6・Infinity在籍生

参加費用 お一人につき¥3,300

応募方法 右下QRコードよりフォームにアクセスして
お申し込みください。



※詳細はコミュナビ及び
Grad+にてご連絡させて
いただきます。

お申込みは
こちら
から



G1/G2
Beginner部門
を新設！



関東

Voices of Tomorrow スピーチコンテスト

世界中の報道関係者や文化交流に携わる
方々が集う日本外国特派員協会を舞台に、
自分の夢や想いを英語で発表します。特別
な環境での挑戦を通して、表現力や自信、
世界へ向けて発信する力を育みます。

日時 2026年11月29日(日) 12時~16時(予定)

会場 日本外国特派員協会(FCCJ/外国人記者クラブ)
東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル5階

対象 小学1年生~小学6年生

参加人数 30名程度 ※Grad Clubにて音声審査を行い、
通過した方のみ参加

費用 5,500円(エントリー費用)

詳細はコチラ

Voices of Tomorrow
speech contest
特設サイト



Every Challenge
Builds Confidence!

